



味かまほし 2026年度

穂高西小学校だより

No.2

R8. 5. 1

校長 熊井 恵子



令和8年度、保護者や地域の皆さま方のおかげで、大きな事故やケガなく、落ち着いた雰囲気の中で学びをスタートすることができています。心より感謝いたします。

明日から連休になります。自転車に乗る機会も増えることと思います。また、生活リズムも普段とは違ってくるとは思いますが、連休明けの学校生活のためにも、規則正しい生活を心がけていただきますようお願いいたします。

【西小応援団の方たちとの顔合わせ会（4月10日）】

西小応援団には、40名を超えるボランティアの方々にご登録いただいています。登下校の見守りや読み聞かせ、田植え、行事の引率、落ち葉掃きなど、日々さまざまな場面で子どもたちを支えてくださっています。ボランティアの方々とお過ごし時間の中で、自然とあたたかなつながりが生まれてきているのを感じます。子どもたちの中にも、「助けてもらうだけでなく、地域のために何かしたい」「感謝の気持ちを伝えたい」という思いが少しずつ育ってきています。



【1年生を迎える会（4月17日）】

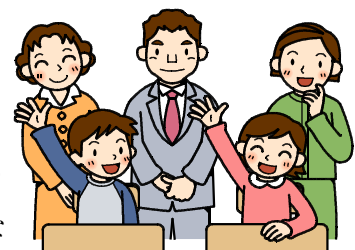


1年生を迎える会が行われました。1年生は6年生と手をつなぎ、少し緊張しながらも花道を入場しました。2年生から6年生は、学校のルールやマナー、行事についてやさしく紹介してくれました。1年生からも「よろしくお願ひします」と元気なあいさつがあり、会場は温かな雰囲気に包まれました。1年生の入学をみんなで喜ぶとともに、一つ学年が上がった子どもたちの成長も感じ

られる時間となりました。

【全校参観日（4月24日）】

授業参観・総会・学級懇談会にご参加いただき、ありがとうございました。校内を見て回る中で、子どもたちの一生懸命な



姿に心が温かくなりました。日頃からのご家庭での支援に、改めて感謝申し上げます。
総会では、PTAリーダー会員の方々の紹介や西小応援団のお話、6年生の発表、校長講話をお聞きいただきました。6年生は、児童会でがんばりたいことやお家の方へのお願いを発表してくれました。講堂いっぱいの保護者の皆さまを前にとっても緊張したようですが、こうした経験が子どもたちを大きく成長させてくれるのだと感じています。

<西小総会 校長の話（一部抜粋）>

本校では今年度も、三つの学校教育目標を大切にしていきたいと思います。一つ目は「よく考え、粘り強い子」です。授業では、よく聞き自分なりに考え、最後までやりきろうとする姿が増えてきました。これからも、うまくいかないときにも粘り強く取り組む力を育てていきます。二つ目は「自ら気づき、進んでやる子」です。進んであいさつをする子や係、委員会に主体的に取り組む姿が見られます。学習でも、自ら課題を見だし学習を深めていく子どもを育てていきます。三つ目は「広い心で、おもいやりのある子」です。友だちと協力し、困っている人に声をかける姿が見られます。相手の気持ちを考え、違いを認め合えるやさしい心を育てていきます。

こうした目標に向けて、今年度は『縦割り活動』を大切に進めていきます。

全校を60の班に分け、1つの班を6人ほどの異学年で構成します。4月は顔合わせ会、5月はミニゲームと全校音楽、6月には縦割り班での校長講話を予定しています。その他にも、児童会と協力しながら「いっしょにやってみる」「助け合う」「楽しむ」時間を増やしていきたいと考えています。この縦割り活動の中で、次のような成長を期待しています。5・6年生には、小さい学年の子どもたちと関わる中で、「自分が誰かの役に立っている」「頼りにされている」と感じる経験を積み重ねてほしいと思っています。それが、責任感やリーダーシップにつながっていくと考えています。1年生から4年生の子どもたちには、上級生の姿から学校生活のルールやマナーを学びながら、異学年の友だちと関わる楽しさを感じてほしいと思います。そして、「自分はどんな5・6年生になりたいか」目標をもってくれたら、とても嬉しく思います。学年を越えて顔を知り合い「学校のみんなが知っている人」という関係が少しずつ広がっていくことを願っています。

私が子どもころは、地域の中で自然と子どもたちが関わり合い、その中で思いやりや協力する力を身につけていきました。縦割り活動も、そうした温かいつながりを学校の中でつくっていく一つの場になればと考えています。

